

- 問1 東南アジアのインドシナ半島に位置するタイでは、人々の生活や文化に特定の宗教が深く関わっており、世界の宗教別人口構成においても重要な割合を占めています。タイにおいて、国民の約9割以上が信仰している最も主要な宗教は何ですか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. ヒンドゥー教 2. イスラム教 3. 仏教 4. キリスト教
- 問2 フィリピンからインドネシアにかけての地域において、海面から急峻な山地がそびえ立ち、すぐにまた海へ沈むような複雑な地形断面が形成されている主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
1. 氷河期に形成された大陸氷河が移動する際に、大地を深く削り取ったから 2. 環太平洋造山帯に位置し、プレート運動による火山活動や地殻変動が活発だから 3. 広大な熱帯雨林を流れる河川が、長年かけて平坦な土地を浸食したから 4. 古生代の造山運動によって形成されたなだらかな山地が、沈水して島々になったから
- 問3 日本企業が生産拠点を東南アジア諸国に移転・進出させる主な背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。なお、ある統計資料における平均賃金指数（日本を100とする）では、中国が31.0であるのに対し、インドネシアが13.5、ベトナムが8.5、マレーシアが14.8となっています。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 東南アジア諸国の平均賃金が中国よりも高く、現地の労働者の購買力が日本を上回っているため 2. 中国の労働力が不足し、東南アジアの方が日本よりも平均賃金が高くなったため 3. 東南アジア諸国の平均賃金が中国よりも低く、より安価な労働力を確保することで生産コストを抑えられるため 4. 東南アジア諸国では日本国内よりも平均賃金が高く、付加価値の高い製品を販売しやすいため
- 問4 APEC（アジア太平洋経済協力）が、加盟している国や地域の間で行っている活動の目的や内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)
1. 加盟国間の国境を完全に廃止し、人々の移動を自由化する統合政府を作ること 2. 軍事同盟を締結し、アジア太平洋地域の平和と安全を武力によって維持すること 3. 加盟国間で共通の通貨を導入し、中央銀行による一元的な金融政策を行うこと 4. 域内における貿易や投資の自由化を促進し、経済的な連携を強化すること
- 問5 中国の米の生産と流通に関する説明として、統計的な背景に基づいた正しい記述を次から選びなさい。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 農業の近代化が遅れているため生産量は世界的に低いが、外貨獲得のために無理な輸出を行っている。 2. 生産された米の多くを輸出に回す「世界の食糧庫」としての役割を担っており、世界最大の輸出国である。 3. 世界生産量の約3割を占める世界最大の生産国であるが、巨大な国内消費のため輸出量は少ない。 4. 広大な土地があるものの米の自給率は低く、消費量の過半数を東南アジアからの輸入に頼っている。
- 問6 ベトナムやインドネシアといった国々とシンガポールを比較した統計において、日本企業の進出数と現地の経済状況の関係性を説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. シンガポールのように平均賃金が高い国では、低賃金の国に比べて工場などの進出数が急増している 2. 平均賃金が低い国ほど、生産コストの削減を目的とする日本の製造業が進出しやすい傾向がある 3. 平均賃金が高い国ほど、安価な労働力を求める日本の製造業の進出が活発になる傾向がある 4. 日本企業の進出数は、現地の平均賃金の高さに関わらず天然資源の産出量のみで決定される
- 問7 米の生産量が小麦を大幅に上回り、北東部では茶の栽培も行われているタイの食文化について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 米を主食としており、鶏肉や野菜とともに米を炊き込んだ料理や、米粉から作られた麺などが広く親しまれている。 2. トウモロコシを主食としており、粉状に挽いて薄く焼き上げたトルティーヤというパンのような料理が日常的に食べられている。 3. 小麦を主食としており、パスタやピザなどの粉製品が中心で、地中海沿岸の食材を多用する傾向がある。 4. イモ類やライ麦を主食としており、寒冷な気候でも育つ作物を中心に、乳製品を組み合わせた食事が一般的である。
- 問8 1960年代から2020年頃にかけて人口が急激に増加し、十数億人に達したインドでは、爆発的な人口増加に伴う深刻な食料不足を解決するために、農業技術の大きな転換が行われました。この取り組みの内容として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 労働力不足を解消するために、AIやロボット技術を活用したスマート農業を1960年代から導入した。 2. 高収量品種への品種改良や化学肥料の大量投入により、単位面積あたりの穀物生産量を飛躍的に増大させた。 3. 自給用の穀物生産から、輸出を目的とした茶や綿花などの商品作物の大規模生産へと切り替えた。 4. 環境保護のために化学肥料や農薬の使用を禁止し、伝統的な有機農業を国全体で推進した。
- 問9 サウジアラビアが位置するアラビア半島の自然環境と気候について、正しい組み合わせはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. イタリア半島 – 温帯（地中海性気候） 2. インドシナ半島 – 熱帯（熱帯雨林気候） 3. アラビア半島 – 乾燥帯（砂漠気候） 4. スカンジナビア半島 – 亜寒帯（冷帯湿潤気候）
- 問10 東南アジアに位置するタイの工業化が進展した背景について、その要因を説明した文として最も適切なものはどれか選んでください。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 18世紀後半に世界で最も早く産業革命を成し遂げ、古くから近代工業の基盤が整っていたため。 2. 広大な国土で採掘される鉄鉱石や石炭などの豊富な鉱産資源を背景に、国内資本のみで重化学工業を成長させたため。 3. ASEAN（東南アジア諸国連合）に加盟し、外国企業の工場を積極的に受け入れる政策をとったため。 4. 沿岸部の都市に「経済特区」を設置し、外国の資本や技術を限定的に導入する政策をとったため。
- 問11 東南アジアの島国であるインドネシアの統計資料において、年平均気温が約27.3℃、年降水量が約2672.3mmという高い数値が示されている場合、この地域の伝統的な生活様式について説明した文として正しいものを選択してください。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 季節による気温の変化が激しいため、季節ごとに移動しながら生活するテント状の住居が一般的である。 2. 冷涼な気候が続くため、暖房効率を高めるために家全体の気密性を高くしている。 3. 乾燥した気候で水が貴重なため、屋根に傾斜をつけず、雨水を一箇所に集める工夫をしている。 4. 高温多湿な気候に適応するため、風通しを重視した高床式の住居が作られてきた。
- 問12 東南アジアに位置するある国は、国土面積が約33万平方キロメートルで日本の面積（約38万平方キロメートル）に近く、日本への主要な輸出品目として衣服類が大きな割合を占めているという特徴があります。この国を答えなさい。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. フィリピン 2. インドネシア 3. ベトナム 4. タイ

答え合わせ・解説

問1	答え 3 仏教	タイはインドシナ半島の中央部に位置し、伝統的に仏教（上座部仏教）を厚く信仰している国として知られています。東南アジア諸国連合（ASEAN）の国々の中では、タイやミャンマー、カンボジアなどで仏教が主流である一方、島しょ部のフィリピンではキリスト教、インドネシアやマレーシアではイスラム教が広く信仰されており、地域による宗教の多様性が特徴です。
問2	答え 2 環太平洋造山帯に位置し、プレートの運動による火山活動や地殻変動が活発だから	東南アジアの島嶼部は環太平洋造山帯の一部であり、複数のプレートがぶつかり合う境界付近に位置しています。このため、火山活動や地震を伴う激しい地殻変動によって標高の高い山地が形成され、それらが海上に顔を出して島々を形作っているため、断面図では急峻な起伏が繰り返されることになります。
問3	答え 3 東南アジア諸国の平均賃金が中国よりも低く、より安価な労働力を確保することで生産コストを抑えられるため	経済のグローバル化が進むなか、日本企業は生産コストを削減するために海外へ工場を移転させてきました。かつては中国が主要な進出先でしたが、中国の経済発展に伴い賃金が上昇したため、現在では中国よりもさらに平均賃金が低いベトナムやインドネシアなどの東南アジア諸国が、新たな生産拠点として選ばれる傾向にあります。
問4	答え 4 域内における貿易や投資の自由化を促進し、経済的な連携を強化すること	APECは、加盟している国・地域の多様性を尊重しながら、経済的な結びつきを深めることを目指しています。具体的には、貿易の壁を低くすること（自由化）、通関手続きなどを簡素化すること（円滑化）、そして途上国への技術協力などを通じて、地域全体の経済成長を後押しする活動を行っています。通貨の統合や軍事的な協力は目的として含まれていません。
問5	答え 3 世界生産量の約3割を占める世界最大の生産国であるが、巨大な国内消費のため輸出量は少ない。	2011年のデータによれば、中国の米生産量は約2億トンに達し、世界全体の生産量の約30%を占めています。一方で、同年の世界全体の輸出量約3761万トンに対し、中国の輸出量はわずか49万トンです。これは「生産量は多いが、それ以上に国内で食べる人が多いために輸出に回らない」という、人口大国である中国特有の供給構造を示しています。
問6	答え 2 平均賃金が低い国ほど、生産コストの削減を目的とする日本の製造業が進出しやすい傾向がある	企業の海外進出において、現地の「平均賃金」と「進出企業数」には密接な関係があります。特に、大量の労働力を必要とする製造業にとっては、賃金の低さは国際的な価格競争力を維持するための重要な条件となります。したがって、賃金の高いシンガポールよりも、賃金が抑えられているベトナムやインドネシアの方が、工場を構える日本企業にとって魅力的な進出先となり、進出数の伸びが大きくなります。
問7	答え 1 米を主食としており、鶏肉や野菜とともに米を炊き込んだ料理や、米粉から作られた麺などが広く親しまれている。	タイは世界有数の米輸出国でもあり、食生活においても米が中心的な役割を果たしています。代表的な料理である「カオマンガイ（鶏肉の炊き込みご飯）」や、米粉を原料とした麺料理である「パッタイ」などは、現地の農業生産の特色を強く反映した食文化の具体例です。
問8	答え 2 高収量品種への品種改良や化学肥料の大量投入により、単位面積あたりの穀物生産量を飛躍的に増大させた。	インドなどの開発途上国では、急増する人口を支えるための食料確保が大きな課題でした。そこで、小麦や米などの穀物において、病気に強く収穫量の多い品種への改良が進められ、さらに化学肥料や農薬、灌漑設備の整備を組み合わせることで、生産力を大幅に向上させました。この一連の農業技術革新は「緑の革命」と呼ばれます。
問9	答え 3 アラビア半島 - 乾燥帯（砂漠気候）	サウジアラビアが位置するアラビア半島は、北緯20度から30度付近の亜熱帯高圧帯の影響を強く受けるため、降水量が極めて少なく、その大部分が砂漠となっています。このため、人々の生活や産業は、オアシスや沿岸部の都市、および石油資源開発地に集中しています。
問10	答え 3 ASEAN（東南アジア諸国連合）に加盟し、外国企業の工場を積極的に受け入れる政策をとったため。	タイは東南アジア諸国連合（ASEAN）の主要メンバーとして、域内での関税撤廃などの恩恵を背景に、日本をはじめとする外国企業の誘致を積極的に進めました。特に自動車や電子機器の組み立て工場が数多く進出したことで、「アジアのデトロイト」と呼ばれるほどの工業化を成し遂げました。なお、経済特区の設置は中国、近代工業（産業革命）の発祥はイギリス、豊富な鉱産資源による輸出経済はオーストラリアなどの特徴であり、タイの事例とは異なります。
問11	答え 4 高温多湿な気候に適応するため、風通しを重視した高床式の住居が作られてきた。	年平均気温が27度を超え、降水量が非常に多いというデータは、その地域が熱帯の高温多雨な気候であることを示しています。このような地域では、暑さと湿気への対策が生活上の課題となります。インドネシアなどの伝統的な住居に見られる「高床式」は、風通しをよくして体感温度を下げるとともに、地面からの湿気が直接屋内に伝わるのを防ぐ合理的な仕組みです。選択肢にある「冷涼な気候」や「乾燥した気候」は、示された統計データとは矛盾します。
問12	答え 3 ベトナム	ベトナムはインドシナ半島の東側に位置する国で、面積は日本よりわずかに小さい約33万平方キロメートルです。1980年代後半から導入されたドイモイ（刷新）政策により市場経済が導入され、豊富な労働力を背景とした軽工業が発展しました。特に衣服の生産が盛んで、日本にとっても中国に次ぐ重要な衣服の輸入先となっています。